

今昔

遊興、見物の人々で賑わった 広い境内と門前の通り



※現在地の住所と現況写真の撮影地は、資料に基づき推定したものです。
※左の絵は原本を一部加工、着色しています。

この絵は、尾張名所図会に描かれている江戸時代の大須のまちの様子です。名古屋城と熱田を結ぶメインストリートであった本町通と本町通から西へ北野山真福寺宝生院(大須観音)へと続く道を、多くの人が行き交っていることがわかります。

中央に描かれている清寿院は、寛永16(1639)年創建の修験道の寺で、富士浅間神社の別当寺(※)でした。江戸時代には広大な境内を誇り、植木屋や芝居小屋なども出て大いに賑わったと伝えられています。尾張名所図会には次のように記されています。

「境内に植木屋ありて盆鉢にうえる珍木奇草を架上に排列し四時の春を留むる清観、また芝居小屋ありて遊人の輻輳常に絶ることなし」



富士浅間神社/那古野山古墳から出土した須恵器(有蓋脚付短頸壺)が保管されています。



柳下水/清寿院の中門前にあり、当院の供水として、また將軍家上洛のときには飲料水として用いられたといわれています。

明治5(1872)年、清寿院は廃寺となりましたが、境内の一部が明治12(1879)年に愛知県の浪越公園として開園、愛知県内における最初の公園となりました。公園内に造られた富士見台という高い檜は名古屋のまちが一望できると評判を呼んでいたといわれています。大正3(1914)年、名古屋市に移管され、現在は那古野山公園として大樹の茂る墳丘が残っています。

現在、買物客や観光客などで賑わうまちの一角には、富士浅間神社や尾張名古屋の三名水といわれた清寿院の井戸・柳下水跡が残っており、当時の名残をとどめています。

※別当寺
神仏習合説に基づいて神社に設けられた神宮寺の一つ。

名古屋ポストン美術館タイアップメニュー

ポストンランチ～錦絵の黄金時代～

2011.1.30(日)まで 11:30am～2:30pm (ランチタイムのみ)
30Fスカイレストラン&バー「スターゲイト」

1名様 ¥3,800 (税金・サービス料込)



ANA
CROWNE PLAZA
HOTEL GRAND COURT
NAGOYA

〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1-1
www.anacrowneplaza-nagoya.jp
ご予約・お問い合わせ Tel.052-683-4111(代)

総合スタッフサービス

- 人材派遣 ■アウトソーシング
- コンベンション事業
- 通訳 ■翻訳

<http://www.congre.co.jp/>



TEL 052-950-3369

株式会社 コングレ